

鳥インフルエンザ関係閣僚会議

日 時：令和4年10月28日（金） 8：40～8：50
（閣議後）

場 所：官邸2階小ホール

議 題：岡山県の家きんにおける鳥インフルエンザの疑似
患畜の発生について

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

高病原性鳥インフルエンザ対策について

令和4年10月
農林水産省

1 高病原性鳥インフルエンザとは

(1)原因(病原体)

OIEが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス

(2)対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

(3)症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色(紫色)、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症：海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

(4)発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和2、3年度に発生。

※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。



元気消失

2 岡山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜発生事例について

(1)場所 ・岡山県倉敷市の養鶏場(採卵鶏) ・飼養規模:約17万羽

(2)周辺農場

3km圏内: 2戸、約25万羽 3km-10km圏内: 6戸、約86万羽 合計8戸、約112万羽

(3)発生経緯

・10月27日(木)、岡山県倉敷市の養鶏場において、死亡羽数が増加したことを受け、岡山県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、27日(木)16時05分、A型インフルエンザ陽性と判明。

・そのため、同家畜保健衛生所によりPCR検査を実施。

その結果、28日(金)午前7時00分、疑似患畜と確定。

3 今後の対応方針

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施する。

1. ①当該1農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、②農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、③半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
2. 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
3. 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
4. 大臣が岡山県知事に面会する等により、岡山県と緊密な連携を図る。
5. 必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。
6. 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、必要に応じ、農林水産省等の専門家を現地に派遣。
7. 岡山県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。
8. 「疫学調査チーム」の派遣。
9. 全都道府県に対し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を改めて通知。
10. 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

4 過去の発生事例～近年の高病原性鳥インフルエンザの発生とその対応

＜平成15年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～3月…3府県4事例 約27万羽（山口県、大分県、京都府）
 （※我が国で79年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザの発生）

＜平成18年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～2月…2県4事例 約16万羽（宮崎県、岡山県）

＜平成22年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

11～3月…9県24事例 約183万羽（島根県、宮崎県、鹿児島県、愛知県、大分県、三重県、奈良県、和歌山県、千葉県）

＜平成26年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

4月…1県1事例 約10万羽（熊本県）
 12～1月…4県5事例 約35万羽（宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県）

＜平成28年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

11～3月…9道県12事例 約166万羽（青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、千葉県）

＜平成29年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

平成30年1月…1県1事例 約9.1万羽（香川県）

＜令和2年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

11～3月…18県52事例 約987万羽（香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、茨城県、栃木県）

＜令和3年度の発生＞ H5N1亜型／H5N8亜型（高病原性）

11～5月…12道県25事例 約189万羽（秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、愛媛県、岩手県、宮城県、北海道）

＜平成17年度の発生＞ H5N2亜型（低病原性）

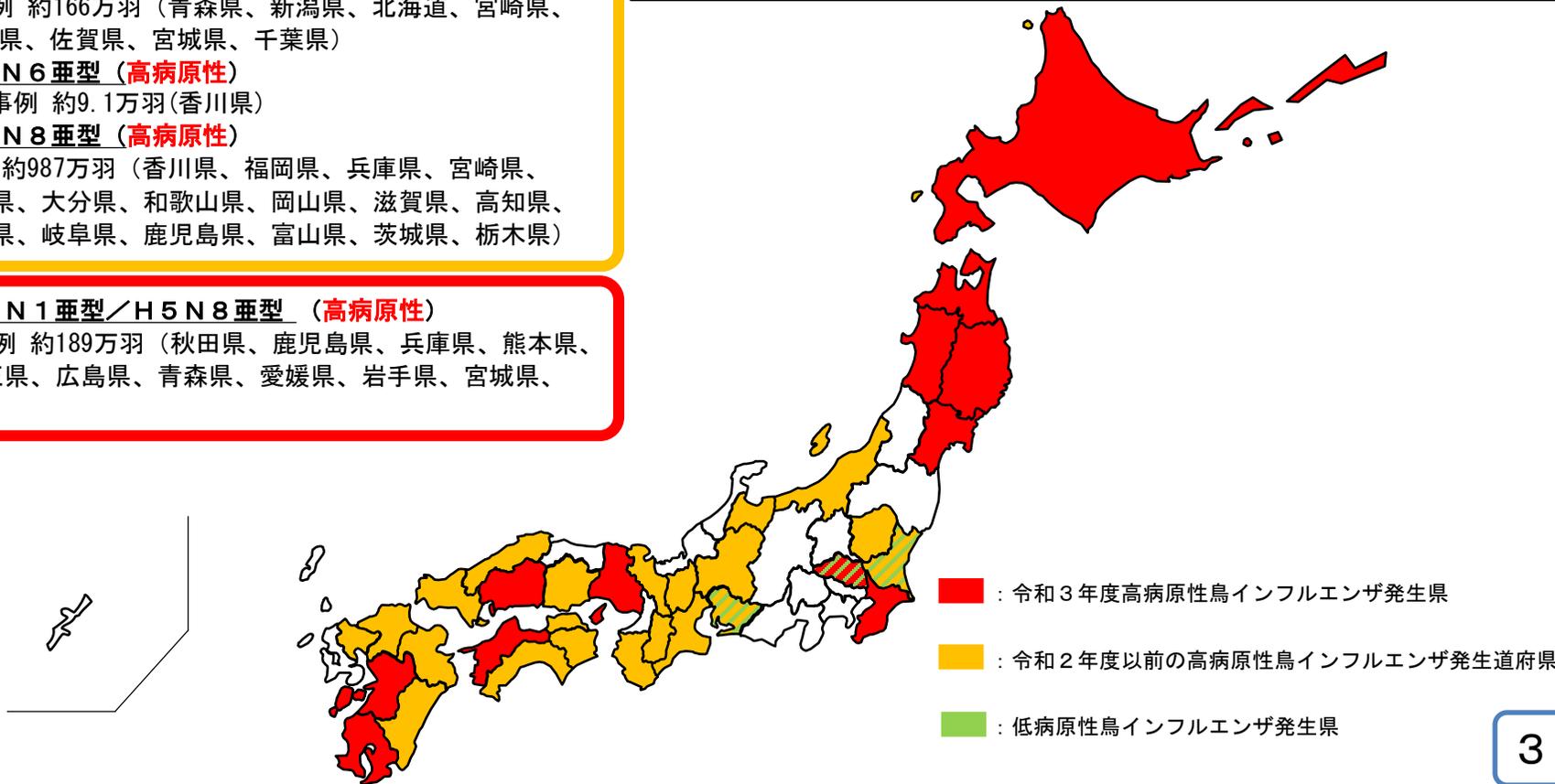
6～12月…2県41事例 約578万羽（茨城県、埼玉県）

＜平成20年度の発生＞ H7N6亜型（低病原性）

2～3月…1県7事例（うずら） 約160万羽（愛知県）

※野鳥における発生（高病原性）

- ・平成20年 全3県
- ・平成22～23年 全16県
 （他3県における動物園等の飼育鳥からウイルスを確認）
- ・平成26～27年 全6県12例（H5N8型）
- ・平成28～29年 全22都道府県 218例（H5N6型）
- ・平成29～30年 全3都県45例（H5N6型）
- ・令和2～3年 全18道県58例（H5N8型）
- ・令和3～4年 全8道府県107例（H5N1型/ H5N8型）

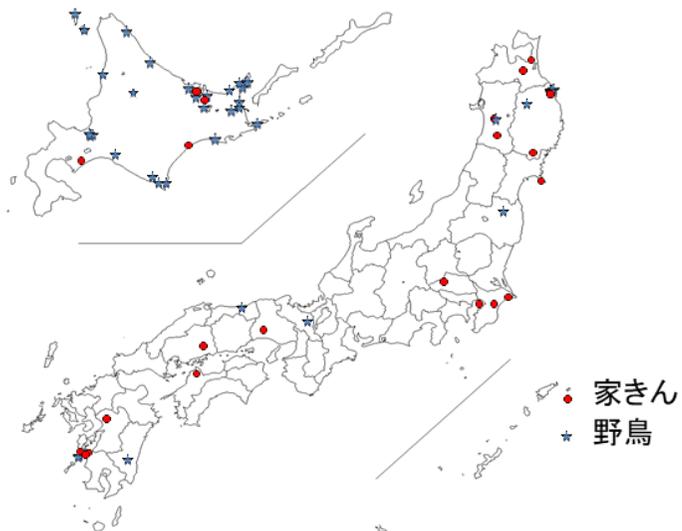


5 令和3年度シーズン 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

○家きん 12道県25事例

※羽数の単位は万羽

地域	疑似患者判定日	用途	羽数	亜型
1 秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	H5N8
2 鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.9	H5N1
3 鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	H5N8
4 兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	H5N1
5 熊本県南関町	12/3	肉用鶏	約6.7	H5N1
6 千葉県市川市	12/5	あひる(アイガモ)	約0.03	H5N1
7 埼玉県美里町	12/7	採卵鶏	約1.7	H5N1
8 広島県福山市	12/7	採卵鶏	約3.0	H5N1
9 青森県三戸町	12/12	肉用種鶏	約0.7	H5N1
10 愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約1.3	H5N1
11 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約8.3	H5N1
12 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	H5N1
12 関連 愛媛県今治市	1/4	採卵鶏	約0.6	-
13 鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.4	H5N1
13 関連 鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.7	-
14 千葉県八街市	1/19	肉用鶏	約6.6	H5N1
15 千葉県匝瑺市	1/26	あひる	約0.17	H5N1
15 関連 千葉県匝瑺市	1/26	あひる	約0.12	-
15 関連 茨城県かすみがうら市	1/26	あひる	約0.11	-
15 関連 埼玉県春日部市	1/26	あひる	約0.14	-
15 関連 埼玉県熊谷市	1/26	あひる	約0.04	-
16 岩手県久慈市	2/12	肉用鶏	約4.5	H5N1
17 宮城県石巻市	3/25	肉用種鶏	約3.2	H5N1
18 青森県横浜町	4/8	肉用鶏	約1.7	H5N1
19 青森県横浜町	4/15	肉用鶏	約1.1	H5N1
20 北海道白老町	4/16	採卵鶏	約5.2	H5N1
21 北海道網走市	4/16	だちょう(エミュー)/採卵鶏	約0.05/約0.01	H5N1
22 秋田県大仙市	4/19	採卵鶏	約0.04	H5N1
23 北海道釧路市	4/26	だちょう(エミュー)	約0.01	H5N1
24 岩手県一関市	5/12	だちょう(エミュー)	約0.001	H5N1
25 北海道網走市	5/14	採卵鶏	約0.08	H5N1



○野鳥 8道府県107事例

(令和4年6月10日時点)

検体回収場所	検体回収日	種名	亜型	検体回収場所	検体回収日	種名	亜型
1 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	H5	55 北海道釧路市	3/9	ハシトガラス	H5N1
2 宮崎県宮崎市	11/9	糞便	H5N1	56 岩手県久慈市	3/14	ハシトガラス	H5N1
3 鹿児島県出水市	11/19	ナベツル	H5N8	57 北海道浜頓別町	3/14	ハシトガラス	H5N1
4 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	H5N8	58 北海道根室市	3/14	ハシトガラス	H5N1
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	H5N8	59 北海道釧路市	3/14	ハシトガラス	H5N1
6 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	H5N8	60 岩手県久慈市	3/18	オオハクチョウ	H5N1
7 鳥取県鳥取市	12/1	環境試料(水)	H5N8	61 北海道佐呂間町	3/22	オジロワシ	H5
8 鹿児島県出水市	12/6	環境試料(水)	H5N8	62 北海道美幌町	3/24	オジロワシ	H5
9 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	H5N1	63 岩手県久慈市	3/23	ハシトガラス	H5N1
10 北海道苫前町	1/2	オジロワシ	H5N1	64 北海道札幌市	3/29	ハシトガラス	H5N1
11 鹿児島県出水市	1/10	環境試料(水)	H5N8	65 北海道釧路市	3/29	オオワシ	H5N1
12 北海道根室市	1/20	ハシトガラス	H5N1	66 岩手県久慈市	3/31	ハシトガラス	H5N1
13 北海道根室市	1/23	ハシトガラス	H5N1	67 北海道札幌市	3/31	ハシトガラス	H5N1
14 北海道雄武町	1/23	オジロワシ	H5	68 北海道札幌市	4/1	ハシトガラス	H5N1
15 北海道小清水町	1/22	オオワシ	H5	69 北海道釧路市	3/31	ハシトガラス	H5N1
16 京都府京都市	1/27	ノスリ	H5N1	70 岩手県久慈市	4/6	ハシトガラス	H5N1
17 北海道根室市	1/28	ハシトガラス	H5N1	71 北海道札幌市	4/2	ハシトガラス	H5N1
18 北海道根室市	2/3	ハシトガラス	H5N1	72 北海道釧路市	4/4	ハシトガラス	H5N1
19 北海道えりも町	2/2	オジロワシ	H5	73 北海道えりも町	4/9	オジロワシ	H5
20 北海道えりも町	2/7	ハシトガラス	H5N1	74 北海道釧路市	4/6	ハシトガラス	H5N1
21 北海道えりも町	2/8	ハシトガラス	H5N1	75 北海道北見市	4/6	ハシトガラス	H5N1
22 北海道標津町	2/8	ハシトガラス	H5N1	76 北海道奥町	4/8	ハシトガラス	H5N1
23 北海道斜里町	2/8	ハシトガラス	H5N1	77 北海道北見市	4/8	ハシトガラス	H5N1
24 岩手県久慈市	2/8	オオハクチョウ	H5N1	78 北海道札幌市	4/9	ハシトガラス	H5N1
25 北海道釧路市	2/10	オジロワシ	H5N1	79 北海道むかわ町	4/12	クマタカ	H5N1
26 岩手県久慈市	2/11	ハシトガラス	H5N1	80 北海道札幌市	4/4	ハシトガラス	H5N1
27 岩手県久慈市	2/13	ハシトガラス	H5N1	81 北海道札幌市	4/4	ハシトガラス	H5N1
28 北海道釧路市	2/14	ハシトガラス	H5N1	82 北海道札幌市	4/4	ハシトガラス	H5N1
29 北海道根室市	2/14	ハシトガラス	H5N1	83 北海道札幌市	4/5	ハシトガラス	H5N1
30 岩手県久慈市	2/14	オオハクチョウ	H5N1	84 北海道釧路市	4/9	ハシトガラス	H5N1
31 北海道利尻富士町	2/15	ハシトガラス	H5N1	85 北海道大空町	4/9	オジロワシ	H5N1
32 岩手県久慈市	2/15	オオハクチョウ	H5N1	86 北海道斜里町	4/9	ハシトガラス	H5N1
33 岩手県久慈市	2/16	オオハクチョウ	H5N1	87 北海道釧路市	4/12	ハシトガラス	H5N1
34 福島県二本松市	2/18	マガモ	H5	88 北海道北見市	4/11	ハシトガラス	H5N1
35 北海道根室市	2/18	ハシトガラス	H5N1	89 北海道札幌市	4/13	ハシトガラス	H5N1
36 岩手県久慈市	2/17	オオハクチョウ	H5N1	90 北海道釧路市	4/11	ハシトガラス	H5N1
37 岩手県久慈市	2/17	ハシトガラス	H5N1	91 北海道網走市	4/15	オジロワシ	H5
38 岩手県久慈市	2/12	マガモ	H5N1	92 北海道中標津町	4/18	ヒシクイ	H5N1
39 岩手県久慈市	2/21,22	ハシトガラス	H5N1	93 北海道浜頓別町	4/19	オジロワシ	H5
40 北海道標津町	2/19	ハシトガラス	H5N1	94 秋田県大仙市	4/19	ハシトガラス	H5N1
41 岩手県久慈市	2/21	オオハクチョウ	H5N1	95 北海道礼文町	4/15	オジロワシ	H5N1
42 岩手県久慈市	2/22	ハシトガラス	H5N1	96 北海道札幌市	4/20	ハシトガラス	H5N1
43 岩手県久慈市	2/22	オオハクチョウ	H5N1	97 北海道様似町	4/20	クマタカ	H5N1
44 岩手県久慈市	2/24	ノスリ	H5N1	98 北海道紋別市	4/22	ハシトガラス	H5N1
45 岩手県久慈市	2/24	ハシトガラス	H5N1	99 北海道えりも町	4/26	オジロワシ	H5
46 岩手県久慈市	2/25	トビ	H5N1	100 北海道札幌市	4/28	ハシトガラス	H5N1
47 北海道標津町	2/24	ハシトガラス	H5N1	101 北海道釧路市	4/25	オジロワシ	H5
48 岩手県久慈市	2/28	カルガモ	H5	102 北海道釧路市	4/29	トビ	H5
49 岩手県久慈市	3/1	ハシトガラス	H5N1	103 北海道大空町	4/18	オジロワシ	H5N1
50 北海道礼文町	3/1	ハシトガラス	H5N1	104 北海道北見市	5/6	オジロワシ	H5N1
51 北海道佐呂間町	3/3	オジロワシ	H5	105 北海道釧路市	4/25	ハシトガラス	H5N1
52 北海道根室市	3/1	ハシトガラス	H5N1	106 北海道根室市	5/6	オジロワシ	H5N1
53 岩手県久慈市	3/4	ハシトガラス	H5N1	107 北海道美幌町	5/14	オジロワシ	H5N1
54 北海道北見市	3/8	オオワシ	H5				

6 令和4年度における高病原性鳥インフルエンザに対する取組

6月 自己清浄化宣言

国際獣疫事務局（OIE）に対する高病原性鳥インフルエンザの自己清浄化宣言

主な輸出先国への輸出の全面再開

発生県からの輸出再開について、全ての発生県に関して輸出先国との間で協議が完了。なお、非発生県からの家きん由来製品については、継続して輸出できることを発生直後から輸出先国に確認。

9月 高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チーム検討会を踏まえた注意喚起（課長通知）

高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チームを開催し、専門家から令和4年度シーズンにおいても我が国で鳥インフルエンザが発生する可能性は高いと指摘。その旨都道府県、関係団体等に対して通知。

高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底（局長通知）

各都道府県知事に対して、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備え、①飼養衛生管理基準の遵守状況の一斉点検の実施、②早期発見・早期通報、的確な初動対応の徹底及び迅速かつ円滑な防疫措置が実施できる体制の整備、③適切な野鳥のサーベイランス検査を実施体制の構築について通知。

越境性動物疾病防疫対策強化推進会議の開催

各都道府県の幹部及び家畜衛生担当者を対象として越境性動物疾病防疫対策強化推進会議を開催し、注意喚起を実施（野村農林水産大臣出席）。

野鳥での鳥インフルエンザウイルス検出を踏まえた注意喚起（課長通知）

韓国及び我が国において、野鳥から鳥インフルエンザウイルスが検出された事を踏まえ、都道府県、関係団体等に対して、改めて、①早期発見・早期通報の再徹底、②家きん飼養農場の防鳥ネットの再度の確認及び人・車両の出入りの厳重管理、③農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底等について通知。

10月 飼養衛生管理基準の一部施行

令和3年に改正された飼養衛生管理基準について、一部施行。採卵鶏20万羽以上50万羽未満の農場における対応計画の策定や埋却等に備えた措置について、対策を強化。

自己点検の実施（10月～5月）

本格的な渡り鳥の飛来シーズンとなる10月以降、家きん飼養農場については、毎月飼養衛生管理の自己点検を実施。

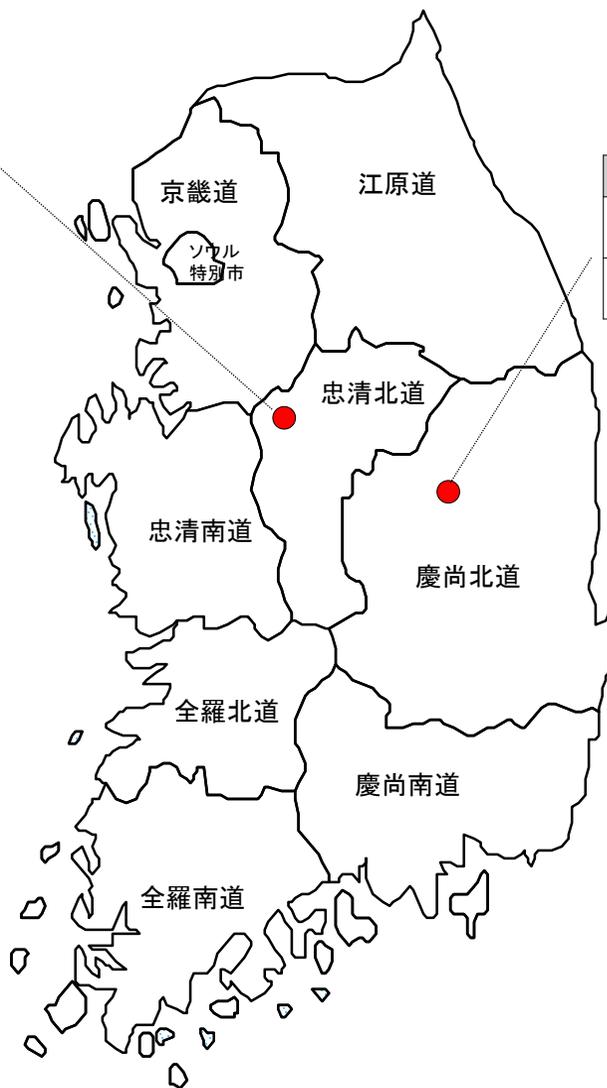
7 韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年10月以降)

2022年10月27日時点
農林水産省動物衛生課

出典:韓国農林畜産食品部
※日付は症状が確認された日または検体採取日

忠清北道			
2022.10.26	鎮川郡	H5N1	肉用アヒル

慶尚北道			
2022.10.17	醴泉郡	H5N1	種アヒル
2022.10.21	醴泉郡	H5N1	肉用種鶏



濟州道

● : 発生地点

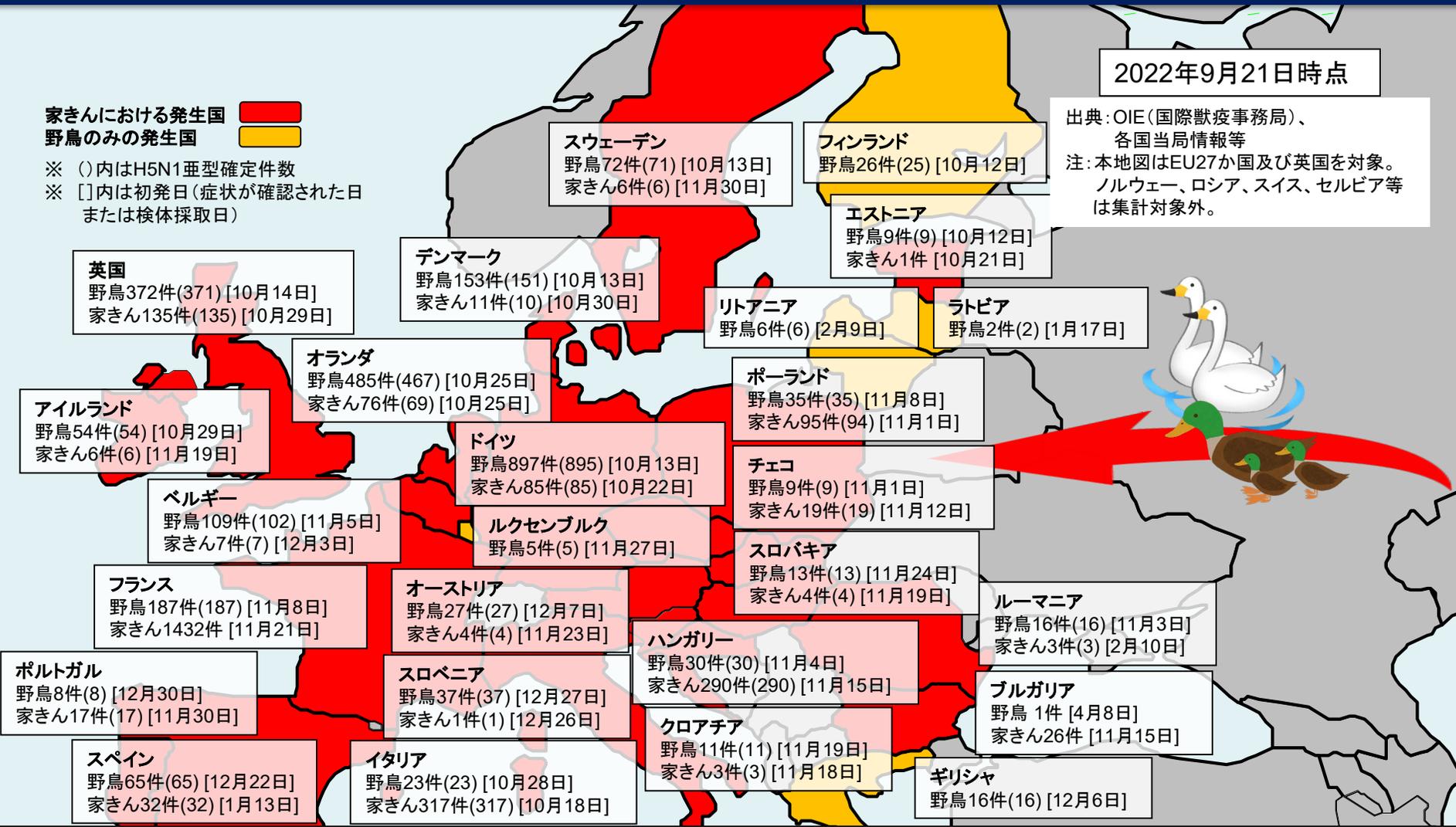
8 欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年10月以降)

2022年9月21日時点

出典: OIE(国際獣疫事務局)、
各国当局情報等
注: 本地図はEU27か国及び英国を対象。
ノルウェー、ロシア、スイス、セルビア等
は集計対象外。

家きんにおける発生国 ■
野鳥のみの発生国 ■

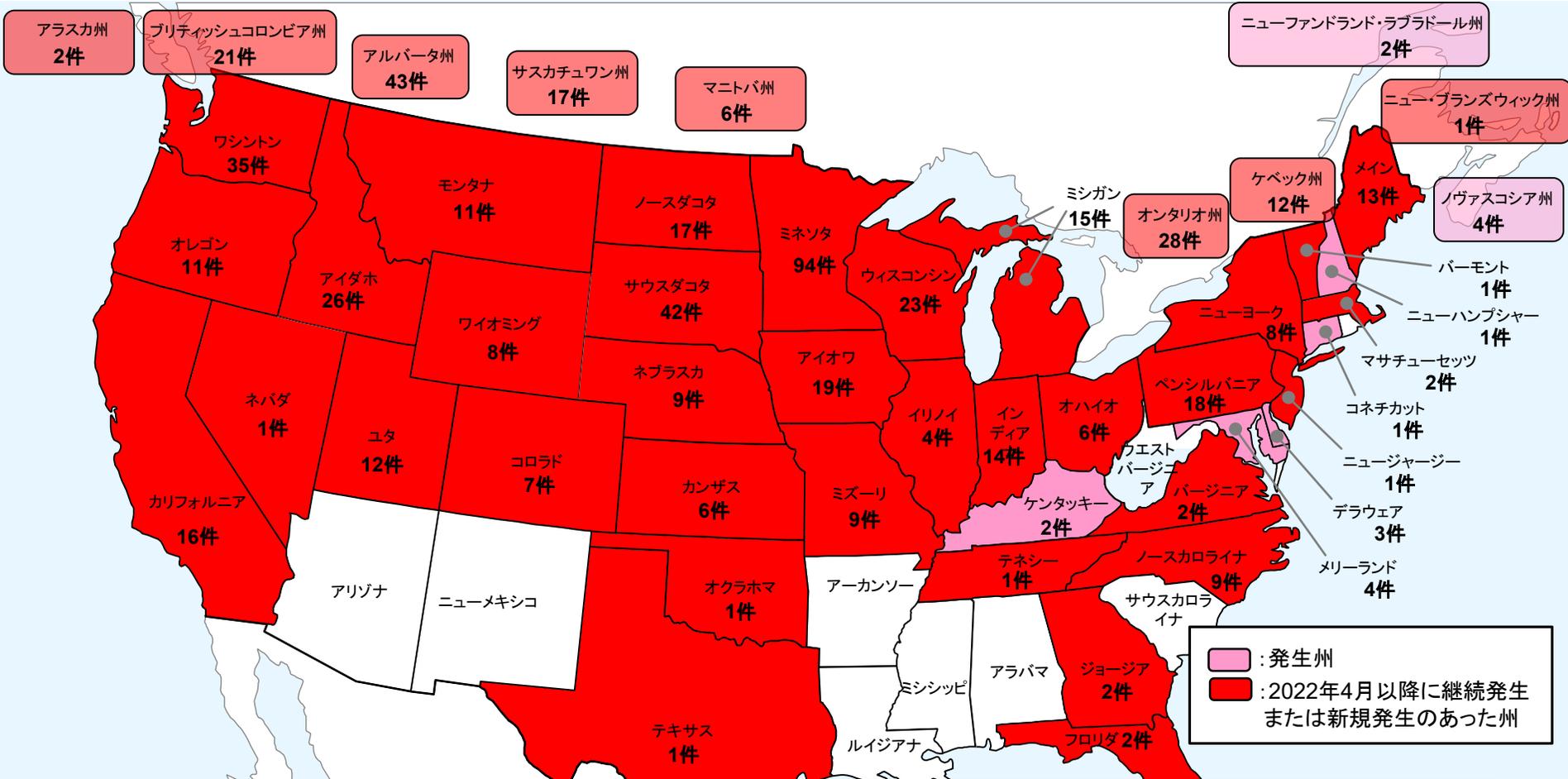
※ ()内はH5N1亜型確定件数
※ []内は初発日(症状が確認された日
または検体採取日)



【今シーズンの発生に関するFAO(国連食糧農業機関)の見解】
 ヨーロッパ西部で渡り鳥にH5亜型のHPAIが確認されており、渡り鳥の飛行ルート上にある国では侵入リスクが高い。
 9月中旬にロシア南東部の野鳥からH5N1 HPAIが検出されたのを皮切りに、ウイルスが西方に移動していることが報告されている。

【今シーズンの発生に関するEC(欧州委員会)の見解】
 夏にロシアのカザフスタン国境付近の野鳥及び家きんにおいてH5N1 HPAIが発生。
 9月末にチェコで確認されたH5N1ウイルスは、2021年の春から夏に欧州で確認されたH5N1ウイルスとは異なる遺伝子型であった。

9 北米の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年10月以降)



2022年 9月21日現在

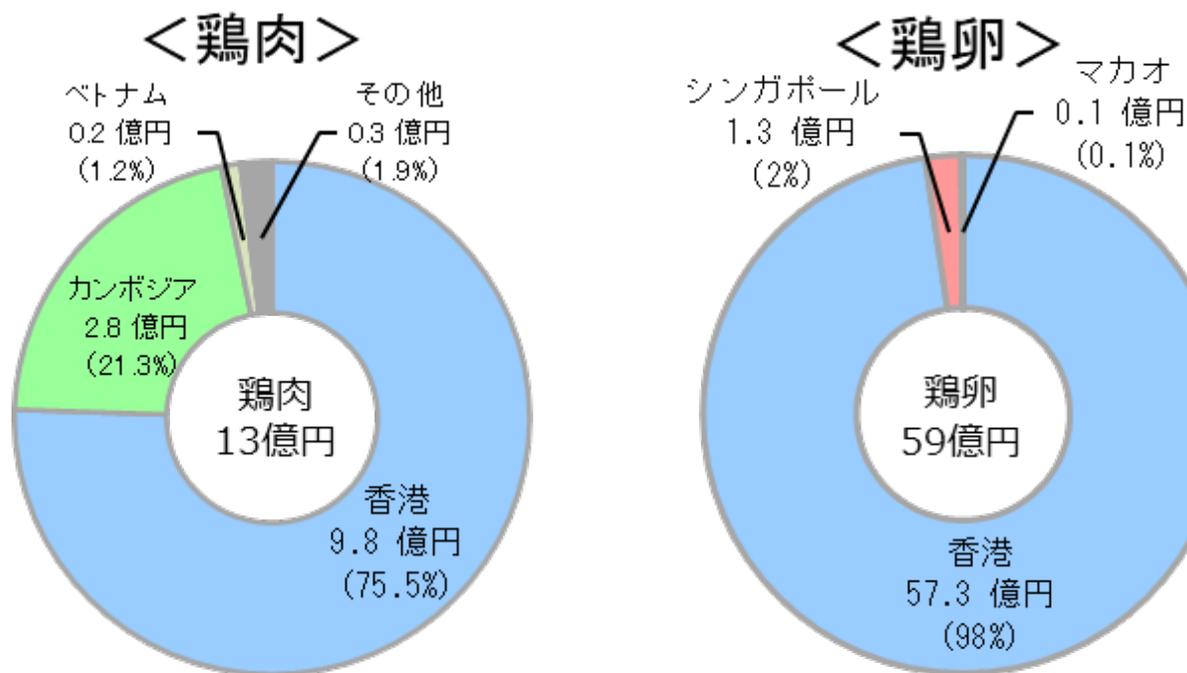
裏庭農場での発生も含む。
 出典: 米国農務省動植物検疫局ウェブサイト、カナダ食品検査庁ウェブサイト、OIE-WAHIS

米国	カナダ
初発日: 2022年2月7日	初発日: 2022年2月4日
発生件数: 459件 (39州)	発生件数: 134件 (9州)
殺処分対象羽数: 44,651,574羽	殺処分対象羽数: 2,363,000羽

10 輸出への影響

- 1 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認された場合、同日から、日本全国の家きん肉及び卵に対する輸出検疫証明書の交付を一時停止。
- 2 速やかに輸出相手国との協議を開始し、非発生県からの輸出の継続及び防疫措置が完了した県からの輸出再開を実現する。

【参考：鶏肉及び鶏卵の輸出実績（2021年）について】



【関係閣僚会議環境省資料】

令和4年10月28日

家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ疑い事例に係る
環境省の対応について

環境省

1. 岡山県倉敷市の農場における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例への環境省の対応は、以下のとおり。
 - 発生農場周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定し、岡山県に野鳥の監視を強化するよう要請を行う。
 - 中国四国地方環境事務所に、岡山県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示する。
 - 岡山県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的とした鳥類相等の調査を実施する。

2. 北海道厚真町の農場における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例が疑似患畜と確定した場合の環境省の対応は、以下のとおり。
 - 発生農場周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定し、北海道に野鳥の監視を強化するよう要請を行う。

- 北海道地方環境事務所に、北海道と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示する。
- 北海道と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的とした鳥類調査を実施する。